

「食」をきっかけとしたシェア空間の立ち上げ

「まちまど」にとってなくてはならない洋光台シェアベースは日々進化中

洋光台駅近くの洋光台団地を中心に進められていた「団地の未来プロジェクト」をきっかけに、2019年に「まちまど」洋光台まちの窓口」は生まれました。地域情報を集めて発信し、地域住民からの相談対応や、人々のネットワークづくりなど、その名の通り「まちの窓口」の顔として活動してきたのが、青山さんと伊藤さんです。



1階と2階それぞれが開いていて内部の階段で行き来するつくり

のは非常にハードルが高い。そこで二人は「まず試してみる場所があるといいのでは」と考え、シェアキッチンづくりに動き出しました。しかし、「まちまど」の拠点には調理設備がなかったため、調理設備と食事ができる場所を兼ね備えた場所を作ろうと考えました。

そんな時にヨコハマ市民まち普請事業を知り、応募を決め、仲間たちと「シェアベース実行委員会」を結成してコンテストに臨みました。大変ではありましたが、多くの人の協力を得て、みんなで文化祭のように楽しむことで、コンテストを勝ち抜くことができました。

「でもコンテストって序章だったよね」「本当に大変だったのはその後だった」と、青山さんと伊藤さんは振り返ります。シェアキッチンとして営業をするためには多くの許可申請が必要でした。一階と二階に二つのスペースを設けたため、複数の許可申請が必要で、それぞれの役所の窓口との調整に苦労しました。さらには建築資材の価格高騰など、複数の想定外が重なり、8月に予定していたオープンが半年延びる事態になりました。また、オープン前にこの場所を貸すためのルールをつくることにも苦労しましたが、多くの方たちからのアドバイスもあり、前向きな気持ちは途切れることなく、無事、3月に食をテーマにしたシェア空間「シェアベース洋光台」を開設することができました。

用する人が増えてきました。オープンから半年を経過して、この場所を使って教室や販売の事業をする人よりも、ホームパーティーに使う人が多いことがわかってきました。これは「まちまど」で相談を受けてきた二人にとって想定外だったのですが、自宅にない調理設備があり、くつろげる空間があるシェアベースならではの使い方です。

印象に残ったシェアベースでのイベントは、二階で高齢の女性た



内壁は下地剤塗りから、塗装までスタッフや地域住民に協力してもらい仕上げた



2階でジャム作り、1階ではスコーン作り。最後は一緒に試食

ちがジャムをつくり、一階で子育て世代がスコーンづくりを行ったことです。普段は接点がない両グループですが、しばらくすると高齢の女性たちは「スコーンを手作りするのはじめて見た。作り方を教えて」と聞き、子育て世代は「このジャム美味しい!どうやって作ればいいのですか?」と尋ね、自然に多世代交流がはじまったそうです。一階と二階の両方にキッチンがあり、内部の階段で行き来ができるシェアベースだからこそエピソードです。

洋光台は約50年前に造成されたまちで、住民の皆さんは自分たちがこのまちを担ってきたという自負を持っているそうです。そのため、新しい取り組みにも寛容で、「まちまど」の二人はすぐ温かく見守られていると感じるそうです。「実際に手を差し伸べてくれる人も多いんです」と話す二人は、まち普請を通じて、多くの多様なサポーターが増えたことを実感しています。

そして、それを証明する出来事がおきました。「まちまど」の拠点の上階の一室で火災が発生し、消火作業の影響で「まちまど」はしばらく使用できなくなりました。一方でシェアベースは火元か

ら少し離れていたため被害は免れ、また出火が夜間だったため、お二人も直接的には被害を受けませんでした。それでも、おにぎりやお菓子などを持って「大変だったね」と顔を見にきて下さった方々がたくさんいて「これには驚いたし、嬉しかった」とのことです。お二人の存在がもう洋光台になくてはならないものと認められ、あたたかく見守られている証にもなりました。



月1ではじめた「まっちゃ まちまど」は甘味が完売するほど人気になっている

「まちまど」への相談も増え、まちや個人の話から、最近では「まち普請に申請しようと思う」という相談も寄せられるようになりま

した。他の地域から「シェアキッチンをつくるには、どうすればいいの?」という相談もあるそうです。さらに、相談や情報発信に加え、実際に使っている様子を見せもらうために、興味のある方と繋がれる気軽に立ち寄れるカフェを月に一度始めました。地域のこだわりのお店とのコラボで始まったこのカフェは、さらにさまざまな人々のつながりを生んでいます。

洋光台に根付いた「まちまど」と「シェアベース洋光台」は、日々進化中です。

「食」をきっかけとしたシェア空間の立ち上げ (磯子区)

整備主体：まちまど、洋光台シェアベース実行委員会
 整備場所：磯子区洋光台三丁目
 洋光台中央団地 13-1107・207
 整備内容：シェアキッチンの内装およびキッチン周りの設備
 竣工時期：令和6年1月